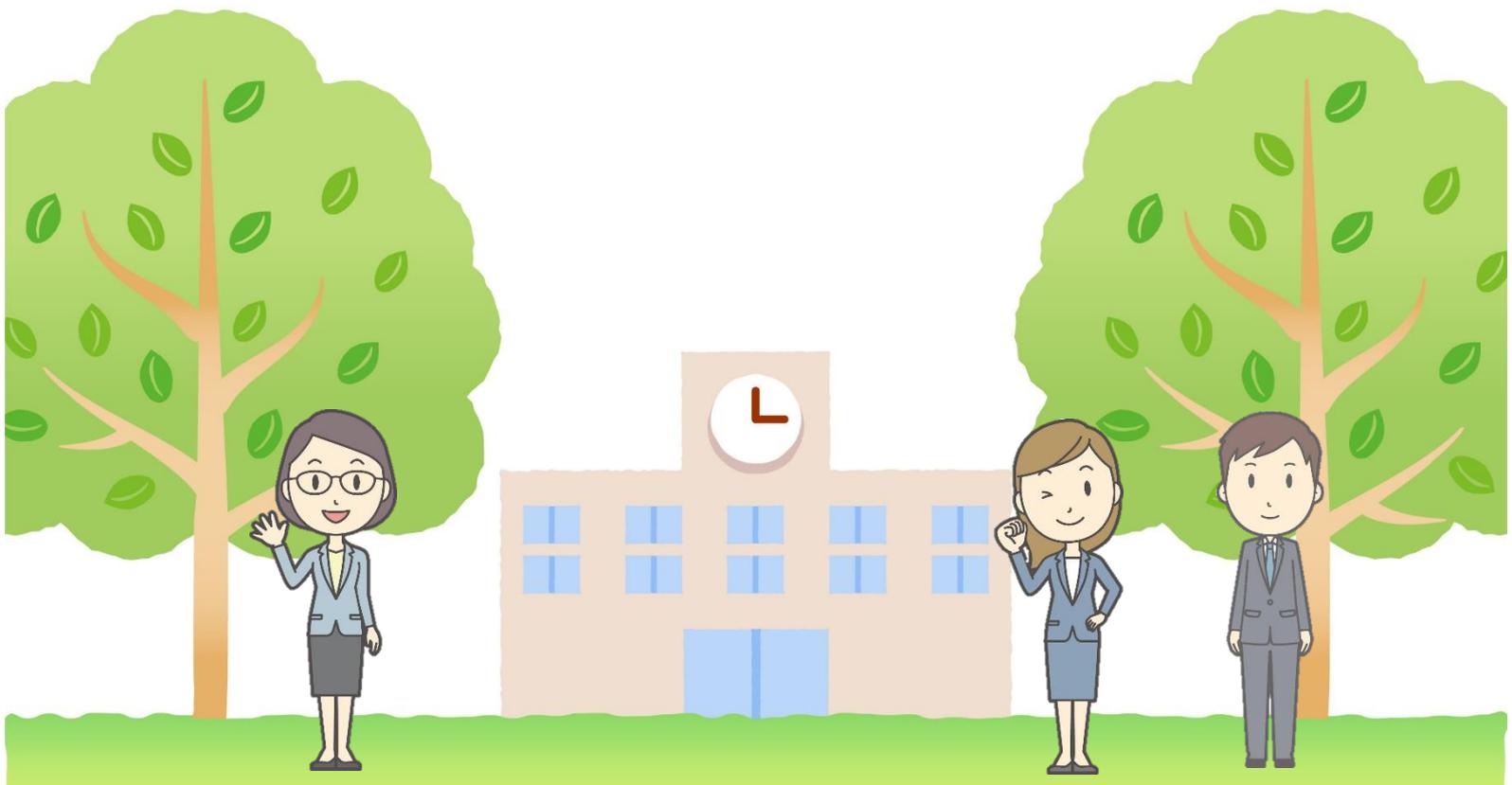


道徳教育充実のための

連携推進

サポートブック





## はじめに

「小学校及び中学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編」(平成29年7月)では、学校における道徳教育は、道徳科を要として全教育活動において、児童生徒一人一人の道徳性を養うものであり、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師(道徳教育推進教師)を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開するよう求められています。そして、学校が組織体として一体となって道徳教育を進めるためには、全教師が指導力を発揮し、協力して道徳教育を展開できる体制を整えることが求められています。

そこで、教職員の協力体制を構築し、一体となって道徳教育に取り組むことができるよう、道徳教育推進教師が中心となって、教職員の連携、家庭や地域との連携、小中連携を進めるための手立てをまとめた「道徳教育充実のための連携推進サポートブック」を作成しました。

「道徳教育充実のための連携推進サポートブック」は、教職員の多忙化解消や業務改善の面から、なるべく負担にならずに取り組むことができる内容となっています。道徳教育推進教師は学校の実態に応じて、まずは、必要なところを参考にして活用してください。さらに、教職員の連携、家庭や地域との連携、小中連携の内容を関連させて取り組むことで、より学校全体で教職員が一体となって道徳教育に取り組むことができます。また、道徳教育推進教師以外の教職員にも、道徳教育を進める上でぜひ参考にしてほしいと思います。

「道徳教育充実のための連携推進サポートブック」が道徳教育の一層の充実に役立つことを願っています。

# 目次

## 第Ⅰ章 道徳教育推進教師の役割

1 道徳教育推進教師の役割	5
2 道徳教育の推進状況を確認しよう	6

## 第Ⅱ章 教職員の連携

1 全体計画を活用しよう	8
2 全体計画別葉を活用しよう	9
3 年間指導計画を活用しよう	10
【コラム① 指導計画について】	11
4 授業づくりの仕方や授業の進め方を共有しよう	12
【コラム② 「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用しよう】	13
5 評価の仕方や所見の書き方を共有しよう	14
【コラム③ OPPシートを活用しよう】	15
6 協力して授業に取り組もう	
(1) ローテーション道徳	16
(2) ティーム・ティーチング (TT)	18
(3) ユニットの導入	19
7 OJTで学びの機会を作ろう	22
【コラム④ 研修に動画を活用しよう】	25
【コラム⑤ 道徳教育パンフレットを活用しよう】	26
8 道徳用教材を整理・保管・活用しよう	27
9 道徳コーナーを作ろう	29
10 教職員向けに道徳通信を発行しよう	30

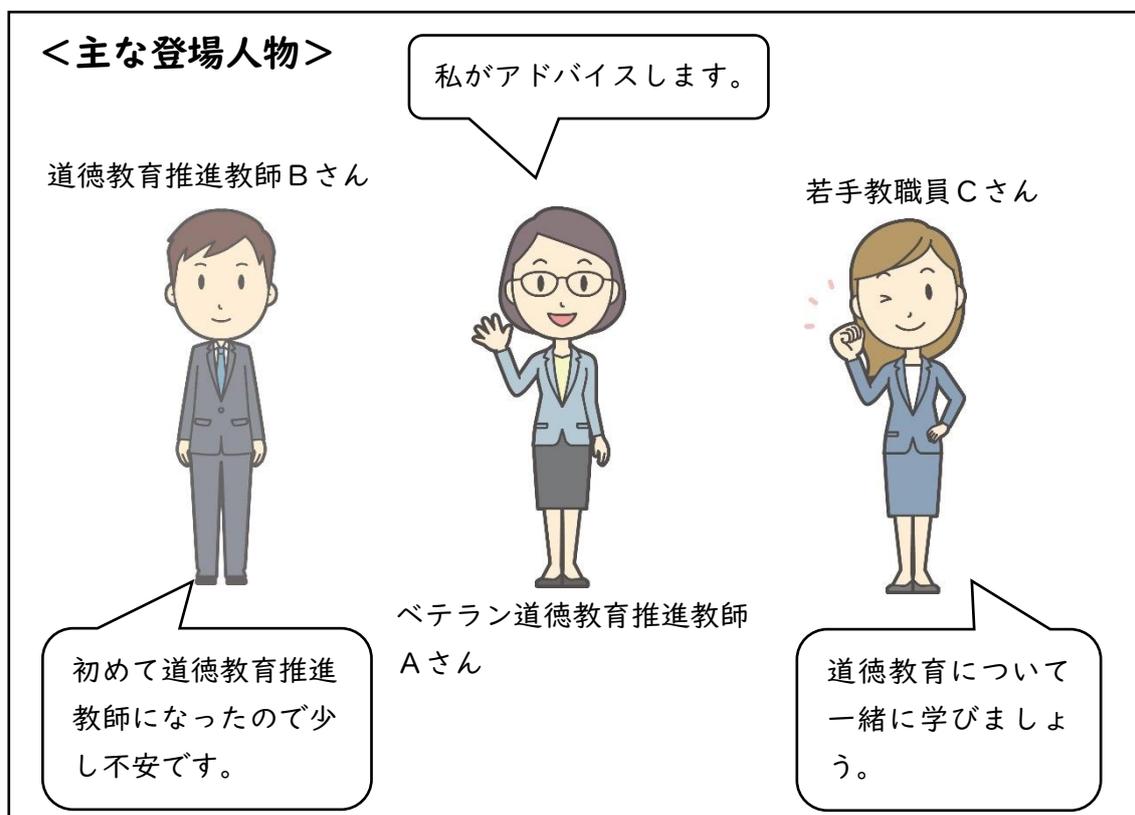
### 第三章 家庭や地域との連携

1 情報を発信しよう	33
2 道徳科の授業を公開しよう	35
3 授業を通して家庭と連携しよう	36
4 地域の人材を授業で活用しよう	40
【コラム⑥ 「ぐんまの道徳」を活用しよう】	43
【コラム⑦ 出前講座を活用しよう】	44

### 第四章 小中連携

1 道徳科の授業を参観しよう	46
2 合同研修会を実施しよう	47
3 合同研修会を実施するための工夫	49

参考文献	52
------	----



# 第I章

## 道徳教育推進教師 の役割

# 1 道徳教育推進教師の役割



初めて道徳教育推進教師になりましたが、どのような役割があるのですか。



道徳教育推進教師は、道徳教育を推進する上での中心となる教師です。全教職員が協力して道徳教育を展開できるように働きかけていきます。役割を見ていきましょう。

## 道徳教育推進教師の役割とその主な内容の例

役割	主な内容
道徳教育の指導計画の作成に関する事	・指導計画（全体計画、全体計画別葉、年間指導計画）の作成や見直しを行う。
全教育活動における道徳教育の推進、充実に関する事	・全体計画の周知を図る。 ・全体計画別葉や年間指導計画の活用を促す。
道徳科の充実と指導体制に関する事	・道徳科の授業を公開し、授業の進め方について共通理解を図る。 ・教職員が協力し合う指導体制を作る。
道徳用教材の整備・充実・活用に関する事	・道徳用教材の整理、保管と活用を促す。
道徳教育の情報提供や情報交換に関する事	・教職員へ道徳通信の発行を行う。
道徳科の授業公開など家庭や地域社会との連携に関する事	・家庭や地域に道徳教育に関する情報を発信する。 ・授業参観等に道徳科の授業を位置付ける。 ・家庭や地域との連携による指導を促す。
道徳教育の研修の充実に関する事	・校内研修等で道徳について研修する機会を設ける。 ・道徳教育に関する小中連携に取り組む。
道徳教育における評価に関する事	・道徳科の評価の仕方について共通理解を図る。

これらの役割を全て一人で行う必要はありません。教職員と連携を図り、協力してもらいながら進めていくことが大切です。できることから少しずつ始めていきましょう。



## 2 道徳教育の推進状況を確認しよう



学校の道徳教育の推進状況を確認してみましょう。できていない項目は、記載されたページを参照してください。教職員の連携、家庭や地域との連携、小中連携の三つの連携を進め、教職員が一体となって道徳教育の充実に努めましょう。

### 教職員の連携

全体計画、全体計画別業、年間指導計画を活用している。

いいえ

P8～P10 へ

道徳科の授業の進め方や評価について教職員で共有している。

いいえ

P12～P15 へ

担任任せではなく、教職員で協力して授業に取り組んでいる。

いいえ

P16～P21 へ

OJT を生かした学びの機会を設定している。

いいえ

P22～P24 へ

道徳用教材の整備や道徳コーナーの設置ができています。

いいえ

P27～P29 へ

教職員向けに道徳通信を発行している。

いいえ

P30～P31 へ

### 家庭や地域との連携

家庭や地域に道徳教育に関する情報を発信している。

いいえ

P33～P35 へ

家庭と連携した授業を実施している。

いいえ

P36～P39 へ

地域の人材を活用した授業を実施している。

いいえ

P40～P43 へ

### 小中連携



小・中学校で道徳科の授業を互いに参観している。

いいえ

P46 へ

小・中学校で道徳教育に関する合同研修会を実施している。

いいえ

P47～P51 へ

## 第Ⅱ章

# 教職員の連携

# 1 全体計画を活用しよう

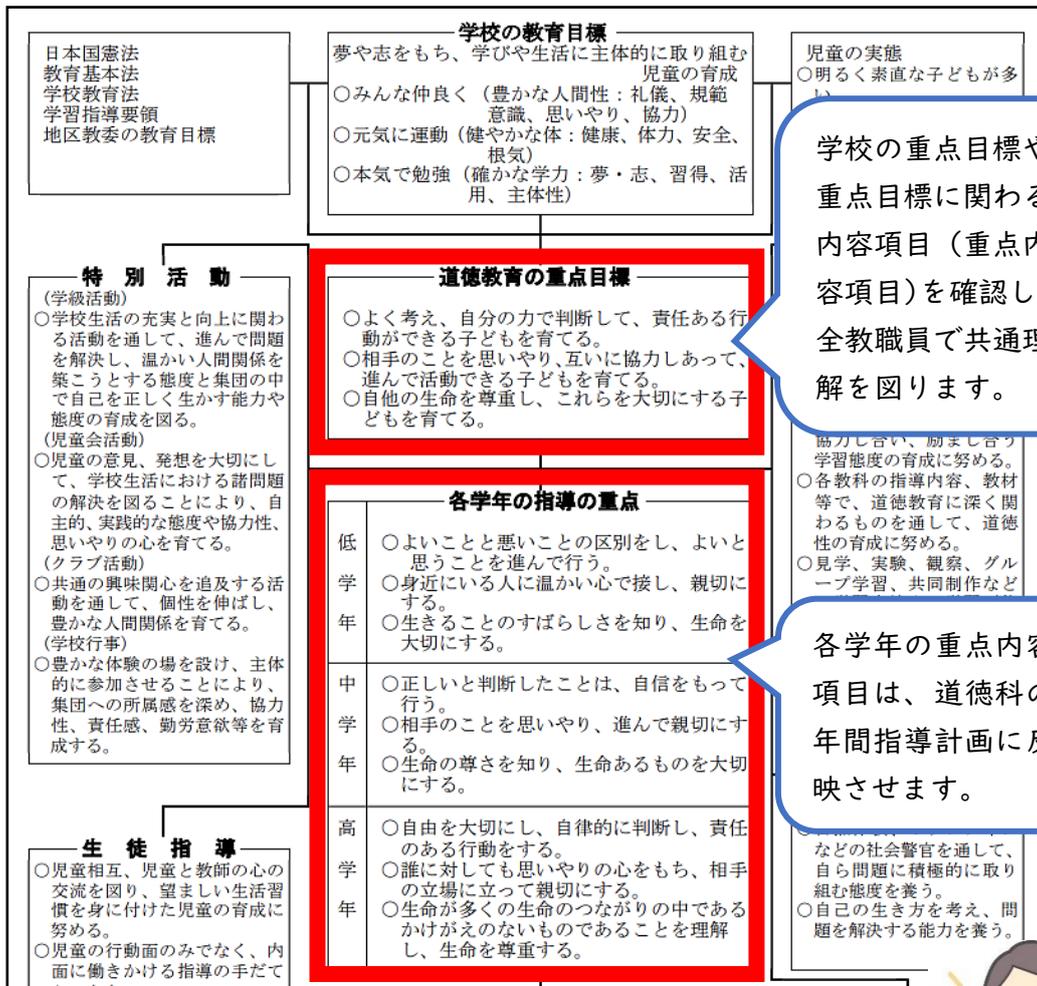


道徳教育の全体計画は、どのように活用するのですか。



年度始めの職員会議や校内研修などで全体計画を説明する時間を確保し、学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について全教職員で共通理解を図りましょう。

## 全体計画の例



学校の道徳教育についての考え方や取組などについて、家庭や地域に通信や Web ページで発信し、理解と協力を得ることも大切です。



## 2 全体計画別葉を活用しよう



全体計画別葉は、どのように活用するのですか。



全体計画別葉を職員室に掲示し、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容を確認したり、新たな指導場面や変更点、改善点を朱書きして記録したりしていきましょう。

### 全体計画別葉の例

第5学年全体計画別葉		学年の重点課題			善意の判断、自律、自由と責任 親切、思いやり 生命の尊さ		自由と責任 誰にも 生命を
内容項目	道徳	学級活動	児童会・クラブ・学校行事	国語	社会		
善意の判断 自律、自由と責任	・こころの整理人(10月) ・うばわれた自由(1月)	・高学年としての心構え(4月) ・楽しい宿泊学習しよう(5月) ・雨の日の過ごし方を考えよう(6月) ・楽しい運動会しよう(9月)	・宿泊学習(5月) ・修学旅行(10月)	・図有種が教えてくれること(10月) ・やなせたかし アンパンマンの勇氣(12月) ・あなたは、どう考える(12月) ・想像力のスイッチを入れよう(1月) ・伝わる表記を選ぼう(2月) ・日本語の表記(3月)	・情報産業とわたしたちの暮らし(12月) ・情報を生かすわたしたち(1月)		
正直、誠実				・たずねびと(9月) ・次道いさんとガン(3月)			
節度、節制					・情報を生かすわたしたち(1月)		
個性の伸長	・短所も長所も(9月) ・変えたもの・変えなかったもの(10月)		・児童会活動開始(5月)	・作家で広げるわたしたちの読書(7月) ・バクコめあを思いだそう(10月)			
希望と勇氣 努力と強い意志	・氷上の挑戦 浅田真央(5月) ・富士観測所をつくるために(2月)	・冬休みの計画を立てよう(12月)		・提案しよう、言葉とわたしたち(2月)	・土まきとまき(2月)		

重点内容項目は目立つように工夫し、意識して取り組みます。

指導した内容にチェックを入れ、実施状況を全教職員で共有できるようにしましょう。



重点内容項目	学期	道徳		学級活動		児童会・クラブ・学校行事		国語		社会	
		月	月	月	月	月	月	月	月		
自律・善意の判断、自由と責任	1			高学年としての心構え 楽しい宿泊学習しよう	4月 5月	宿泊学習					
	2					旅行	たずねびと 図有種が教えてくれること やなせたかし アンパンマンの勇氣 あなたは、どう考える	9月 10月 12月 12月	情報産業とわたしたちの暮らし	12月	
	3	うばわれた自由	1月					想像力のスイッチを入れよう 伝わる表記を選ぼう 日本語の表記	1月 2月 3月	情報を生かすわたしたち	1月
	1	バスと赤ちゃん	5月			宿泊学習					

重点内容項目を中心に作成すると見やすくなります。

全体計画別葉を活用して、学校の教育活動全体を通して道徳教育を進めていくという教職員の意識を高めましょう。



### 3 年間指導計画を活用しよう



年間指導計画は、どのように活用するのですか。



授業後の評価を記録していき、次年度に引き継ぎます。年度末には、一年間の授業を通して、より指導の効果を高めることができるよう配列の見直しを各学年で行いましょう。

年間指導計画の例

回	21	月	10	週	4		
主題名	かぞくへの思いやり				内容項目	C 家族愛, 家庭生活の充実	
教材名	お母さん, かぜでねこむ				出典		
主題構成の理由	子を思う親の心の深さに気づかせることで自然と感謝の気持ちがわき、自分もすてきな家族の一人として家族に貢献していこうとする気持ちへと導いていくため。						
ねらい	家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする心情を育てる。						
学習指導過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家族に</li> <li>「お母さん, か</li> <li>自分の家族に</li> </ul>				<p>備考欄を設け、授業後に気付いた点や改善点など、次年度に引き継ぐことができるよう記録を残します。</p>		
他の教育活動との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活</li> <li>家族の一員として、自</li> </ul>						
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に児童に家族を困らせたことはあるかアンケートを行った。</li> <li>家庭にどんな思いをもって、家族のために家事等を行っているかなどアンケートの協力をお願いした。(資料あり)</li> <li>中心発問を「なぜ主人公は泣きながら眠ったのか」にしたが、話し合いがあまり活発にならなかった。</li> <li>板書写真あり。</li> </ul>						

年間指導計画には、学校の重点目標を反映させます。重点内容項目は、年間一時間ではなく、他の項目よりもめに時間数を確保しましょう。



### 1. 道徳教育全体計画

道徳教育の全体計画は、道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校としての道徳教育の目標を達成するために、どのようなことを重点的に推進するのか、各教育活動はどのような役割を分担し関連を図るのか、家庭や地域との連携をどのように進めていくのかなどについて総合的に示したものです。各学校においては、道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教職員が協力して道徳教育を展開していくことになります。

### 2. 全体計画別葉

全体計画別葉は、道徳科の授業以外の教育活動における道徳教育の指導内容や時期等を、全体計画とは別に作成して一覧表にして示したものです。例えば、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したものや、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるものや、道徳教育の推進体制や家庭や地域等との連携のための活動等が分かるものを全体計画別葉として作成します。全体計画別葉によって、道徳科と他の教育活動の関連を図った指導を行うことができるようになります。

### 3. 年間指導計画

年間指導計画は、道徳科の指導が道徳教育の全体計画に基づき、児童生徒の発達の段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画です。児童生徒の実態や多様な指導方法等を考慮して、学年段階に応じた主題を構成し、この主題を年間にわたって適切に位置付け、配列し、学習指導過程等を示すなど授業を円滑に行うことができるように示します。



指導計画の見直しもを行い、学校全体で改善を図っていきましょう。



## 4 授業づくりの仕方や授業の進め方を共有しよう



学校全体の道徳科の授業の質を高めるためには、まずどうすればよいですか。



道徳教育推進教師が講師となり、道徳科の授業づくりの仕方や授業の進め方について説明し、全教職員で共有しましょう。

### 学校全体で授業の質を高めよう

道徳科の授業を通じて児童生徒の道徳性を養っていくためには、特定の教職員が優れた実践を行うのではなく、学校全体の道徳科の授業の質を高めていく必要があります。そこで、道徳教育推進教師は校内研修主任と連携を図り、年度始めの校内研修の時間に、道徳科の授業づくりの仕方や授業の進め方について説明し、全教職員で共有しましょう。年度始めに行うことで、教職員の道徳科の授業への意識を高め、質の高い授業に向けて、全校で足並みを揃えてスタートを切ることができます。

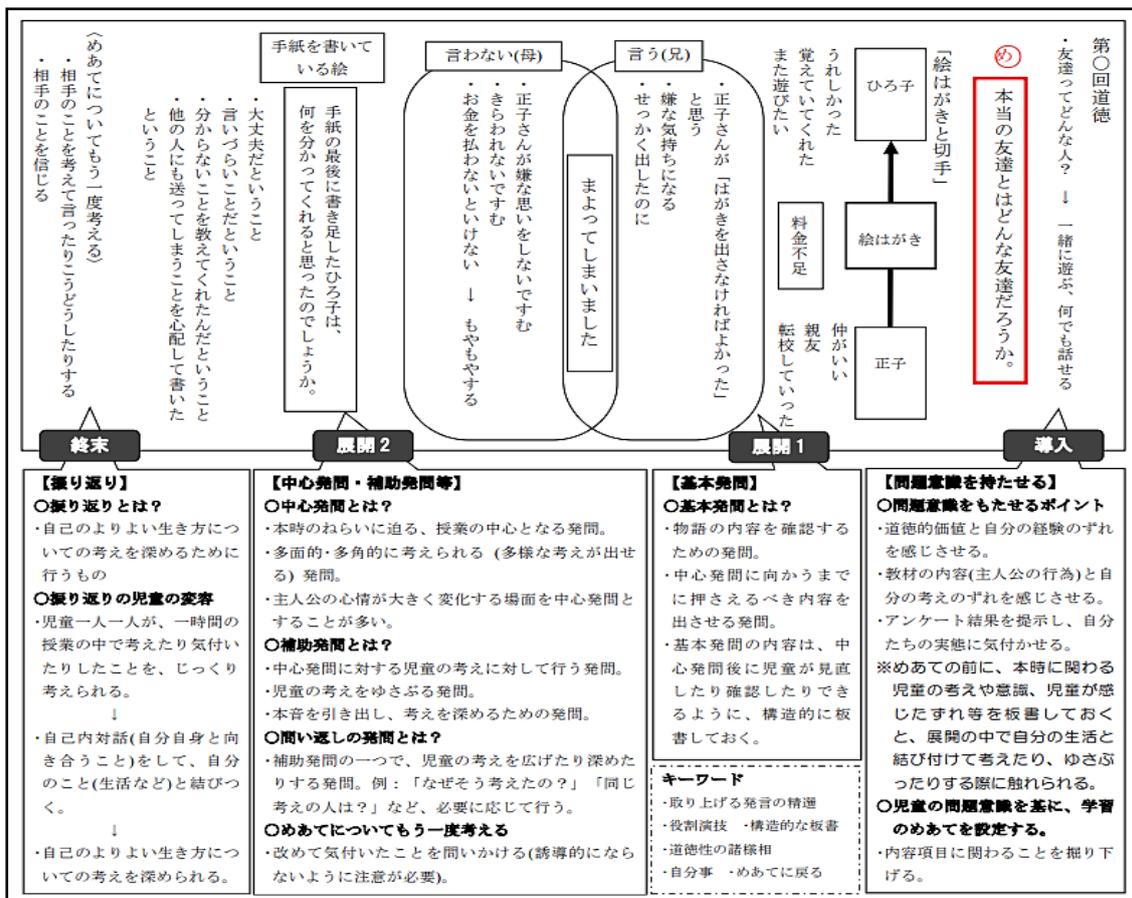


授業づくりの仕方や授業の進め方について確認できるので、安心して授業に臨めます。



教職員用に道徳科の授業の基本的な流れや進め方をまとめ、研修などで活用している学校もあります。

## 教職員用にまとめた道徳科の授業の基本的な流れや進め方の例



## コラム② 「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用しよう

群馬県教育委員会から、主体的・対話的で深い学びにするための授業づくりの基本や実践例をまとめた「はばたく群馬の指導プランⅡ」と「はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用 Version」が発行されています。授業づくりや授業の流れなどを説明する際に積極的に活用しましょう。

### ☆「はばたく群馬の指導プランⅡ (特別の教科 道徳)」

URL : [http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=2222](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=2222)



### ☆「はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用 Version (特別の教科 道徳)」

URL : [http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=4780](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=4780)



## 5 評価の仕方や所見の書き方を共有しよう



道徳科の評価について、学校として組織的に取り組むためには、どうすればよいですか。



道徳教育推進教師は、道徳科の評価の仕方や、通知表や要録の所見の書き方について示し、学校全体で共通理解を図りましょう。

### 評価の仕方の例

#### 〇〇小学校 道徳科の評価スタンダード

##### 〇道徳科の評価の仕方

道徳の評価は、継続的に行った授業により見取った【全体的な評価】と、全体の中でも印象的な一つの授業で見取った【具体的な評価】を合わせて行う。よりよい評価を行うために、日頃の授業で以下の手立てを行う。

##### A【全体的な評価】を行うために

以下のような手立てを継続的に行い、「評価の視点」を決定する判断材料とする。

評価の視点1：多面的・多角的な見方へと発展しているかを見取る例

- ・授業中に自分の考えが変わったら青字で考えを追記させる。
- ・板書や教具を工夫し、考えの変容を可視化する。(心情円・ネームプレート等)
- ・「〇〇君の意見により、考えが変わりました」などの発言の型を用意する。

評価の視点2：価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかを見取る例

- ・展開部で扱う道徳的価値に関わる学校行事などを導入部で提示し、そのときの気持ちなどを学習プリントや板書に記述しておく。
- ・振り返りの時間に、「自分がこれまでどうだったか。これからはどうしたいかを書く」など、視点を与える。
- ・「私も△△のようなことがあり(実体験)、□□のように思う。」などの発言の型を用意する。

##### B【具体的な評価】を行うために

上記の方法で「評価の視点」を決定したら、その姿が顕著に表れていた授業を一つ取り上げ、具体的な姿を見取る。全ての授業で全ての児童を見取することは難しいので、見取る題材を絞る。方法は、学年学級の実態を考慮し、学年で統一して選択する。

ア：予め、その時間に評価する児童を限定しておき、その児童の発言やノートへの記述を注視する。

イ：授業中の発言やノートの記述で、顕著な様子が見られる児童を授業ごとにチェックしておく。

ウ：ネームプレート等を用いて、児童の発言の様子が分かるような板書になるよう授業を工夫し、その板書を画像として保存しておく。

エ：授業中の発言が少なかったり、ノートへ考えがうまく記述できなかったりする児童が活躍できる授業形態をとり、その児童を評価する。

オ：学期末に児童向け道徳科アンケート(別紙)を実施し、印象に残った授業の中で評価する。

次のような基本文型が示されていると、所見を書く際の参考になるので、助かります。



## 評価の基本文型の例

基本文型 A：全体的な評価 題材名 B：具体的な評価

授業では、これまでの自分を振り返り、今後に生かそうとしています。「二人の弟子」の授業では、相反する二人の立場のどちらも自分の心にはあるものとして受け止め、自分自身の弱さに気づき、克服していこうと考えました。

### A【全体的な評価】の所見を書くために

児童の様子から判断し、以下の定型文から選択し、様子に合った文章へと書き換える。※現在形

#### ア：評価の視点1：多面的・多角的な見方へと発展している児童

(児童の様子) 青字の追記が多くみられる。

→自分とは違う考えから学び、新たな視点から考えをもつことができます。

(児童の様子) 友達の考えに対する自分の考えを発表している。

→議論の中で様々な意見に対する自分なりの考えをもつことができます。

(児童の様子) 展開の後半に、価値の深まった発言を行っている。

→周りの意見を取り入れ、自分の考えを発展させることができます。

#### イ：評価の視点2：価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている児童

(児童の様子) 自分の体験談を交えて、ノートに記述したり発言したりしている。

→自分の体験談を交えて意見を発表し、授業内容を自分ごととして考えることができます。

(児童の様子) 登場人物に自分を置きかえて、ノートに記述したり発言したりしている。

→授業では、登場人物の気持ちに寄り添い、自分事として真剣に考えることができます。

(児童の様子) 振り返りに、これまでとこれからの自分の生活について書いている。

→授業では、これまでの自分を振り返り、今後の生活に生かそうとする考えをもつことができます。

### B【具体的な評価】の所見を書くために

上記の様子が顕著にみられた授業の活動の様子を、具体的な発言内容や記述内容を交えて書く。

その際、該当授業における目指すべき児童の姿を設定しておく評価しやすい。※過去形

#### ア：評価の視点1の具体例

→「みんなで劇をつくろう」では、友達の考えに触れ、学校行事では自分の力を高めるだけではなく、みんなでよい集団を作っていくという考えに発展させていました。

#### イ：評価の視点2の具体例

→「通学路」では、きまりを守れなかった自分の体験を振り返り、きまりを守ることは周りのためにも自分のためにもなるという考えをもちました。

## コラム③

## OPPシートを活用しよう

一枚ポートフォリオ評価 (OPPA: One Page Portfolio Assessment) とは、複数の授業の振り返りを一枚のシートにまとめていき、自己評価する方法のことです。使用する一枚のシートを OPP シートといいます。児童生徒の変容が見やすいため、大きくくりなまとまりで評価する際に有効です。

### OPPシートの例

<p>追憶よりかえりシート</p> <p>5年( )組( )番 名前( )</p> <p>【学習前】 自分で考えて行動するために、大切なことは何ですか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習前の考え&gt;</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【学習後】 自分で考えて行動するために、大切なことは何ですか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習後の考え&gt;</p> <p>【学習前と学習後の比較】 学習前と学習後比べて、変わったところはありますか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習前後の比較&gt;</p> <p>家庭から</p> <p style="text-align: center;">&lt;保護者から&gt;</p>	<p>今日の授業で一番大切なことを書きましょう。</p> <p>月 日 日</p> <p>感想</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習履歴&gt;</p> <p>月 日 日</p> <p>感想</p> <p>・教材名</p> <p>月 日 日</p> <p>感想</p> <p>・感想など</p> <p>月 日 日</p> <p>感想</p> <p>月 日 日</p> <p>感想</p> <p>月 日 日</p> <p>感想</p>
--	---

## 6 協力して授業に取り組もう



教職員が協力して道徳科の授業に取り組むには、どうすればよいですか。



ローテーション道徳やチーム・ティーチング (TT)、ユニットの導入を提案し、全教職員が道徳科の授業に関わる機会を作りましょう。

### (1) ローテーション道徳

#### ローテーション道徳のメリット

ローテーション道徳は、一人の教職員が一つの教材で複数のクラスを回って道徳科の授業を行う取組です。一つの教材で複数回授業を実施するので、じっくりと時間をかけた授業準備や、PDCAサイクルでの授業改善が可能となります。また、評価を複数の教職員で行うことができるので、評価の妥当性や信頼性を高めることができます。担任外の教職員がローテーションに入っていれば、T2として授業に参加することや、他の教職員の授業を参観し学ぶこともできます。

#### ローテーションの例

教員	担当		1組	2組	3組
1組担任 	教材A 	1週目		2組担任 教材B	3組担任 教材C
2組担任	教材B	2週目	副担任2 教材E		2組担任 教材B
3組担任	教材C	3週目	副担任1 教材D	副担任2 教材E	
副担任1	教材D	4週目	3組担任 教材C	副担任1 教材D	副担任2 教材E
副担任2	教材E	5週目	2組担任 教材B	3組担任 教材C	副担任1 教材D

ローテーション道徳を行うことで、全教職員が道徳科の授業に関わることができ、道徳に関する話題も増えます。



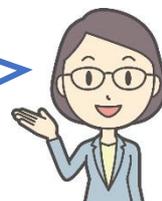
## ローテーション道徳を実施するための工夫

全校または学年で道徳科を同じ時間に揃えることで、ローテーション道徳が行いやすくなります。また、ローテーションは年間を通じて継続させる必要はありません。学期に1回はローテーション道徳を実施する、年度の始めと終わりの時期は担任が担当するなど、学校や学年の実態に合わせて実施回数や時期を設定しましょう。



ローテーション道徳をすることで、自分のクラスの児童生徒との関わりが少なくなってしまう。

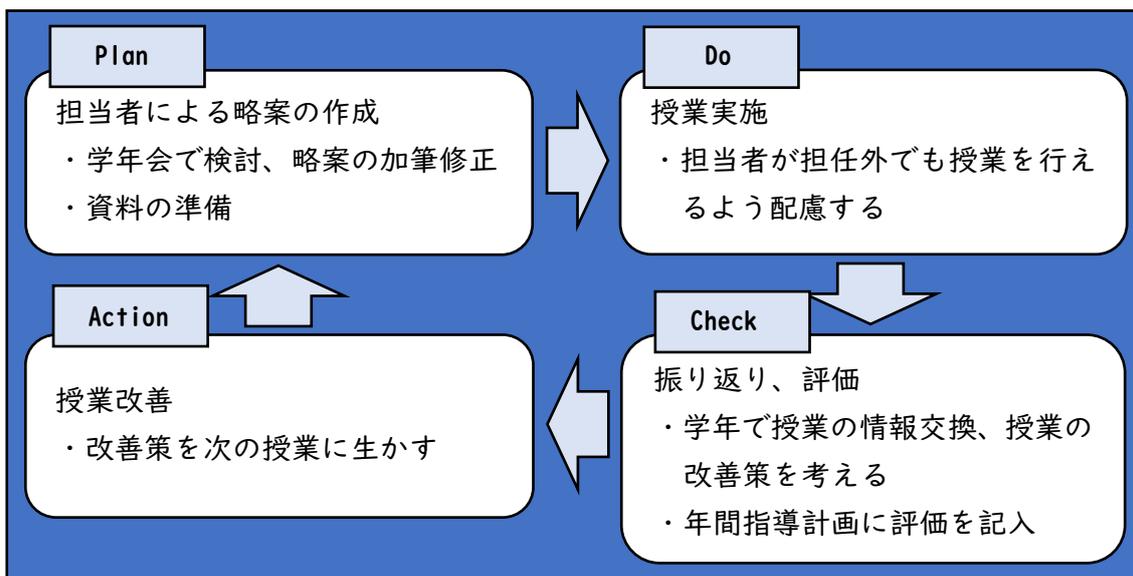
略案づくりをローテーションで行う方法もあります。略案を基に、担任は自分のクラスで授業を行うことができ、担任外の教職員も道徳科の授業に関わることができます。



## 略案づくりをローテーションで行おう

学年の中で担当する順番を決め、道徳科の略案（中心発問や補助発問、板書や授業の流れなど）の作成をローテーションで行います。学年会を利用して略案を検討し、協力して道徳科の授業づくりを行うことで、教職員で学び合うことができ、道徳の苦手意識の払拭や指導力向上にもつながります。

### 略案づくりをローテーションで行うことでできる PDCA サイクル



## (2) ティーム・ティーチング (TT)

### TTで協力して授業に臨もう

道徳科の授業をTTで行うことで、担任以外も道徳科の授業に関わりをもつことができます。また、役割分担をしながら、より多くの児童生徒の意見を細やかにくみ取り、授業に反映させることができます。児童生徒のよさにもより目を向けることができるので、客観的な評価につながります。

TTを行う際には、T2が板書を行うだけの役割にならないよう、事前打合せで役割分担について十分に話し合った上で授業に臨むことが大切です。



二人で授業の改善点を話し合うことができるので、指導力向上につながります。



### TTでローテーション道徳を行おう

中学校では、担任と副担任のTTによるローテーション道徳を行うこともできます。T1とT2を入れ替えたり、組合せを替えたりするなどもできます。

#### TTによるローテーションの例

	1組	2組	3組
1週目	T1  T2  教材A	T1 : 2組担任 T2 : 2組副担 教材B	T1 : 3組担任 T2 : 3組副担 教材C
2週目	T1 : 3組担任 T2 : 3組副担 教材C	T1  T2  教材A	T1 : 2組担任 T2 : 2組副担 教材B
3週目	T1 : 2組副担 T2 : 2組担任 教材B	T1 : 3組副担 T2 : 3組担任 教材C	T1  T2  教材A

## 学年道徳を実施しよう

学年集会のように全学級が集まり、学年主任や学年の道徳担当が中心となって授業を進め、担任はT2として自分のクラスの児童生徒の意見を引き出しながら進めていく学年道徳もあります。学年道徳では、授業者以外の学年の全教職員がT2として授業に参加することができ、協力して指導に当たることができます。



学年道徳を行う前に、学年会を利用して全員で教材研究を行い、協力して授業づくりに取り組むことが大切です。



## (3) ユニットの導入

### ユニットとは

ユニットとは、道徳科の教材を複数組み合わせた単元のことです。複数の授業を一つのユニットと考え、それを積み上げていきます。ユニットを組むことで、児童生徒は一つのテーマについて自分の考えを広げたり深めたりすることができます。教職員は、ユニットのテーマや授業の指導内容、関連する行事へのつながりなどを話し合いながら、協力して道徳科の授業に取り組むことができます。

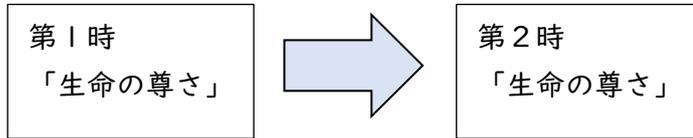
### ユニットを作成しよう

まずは、児童生徒の実態や学年の重点目標などを踏まえて、ユニットのテーマと目標を設定します。その際、学校行事や総合的な学習の時間などの内容も踏まえて考えることで、教育活動全体と道徳科の授業の関連を図ることができます。次に、ユニットの目標に迫るために、道徳科の教材を複数組み合わせるユニットを作成します。道徳科だけでなく、道徳科と他の教育活動をまとめてユニットを作成することも可能です。

## ユニットの構成パターンの例

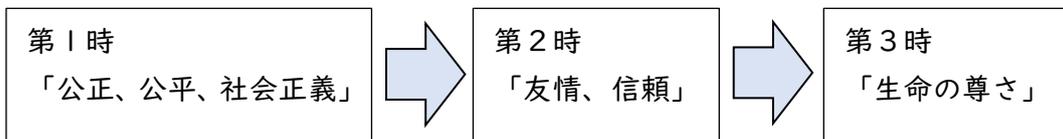
### ①テーマに合った同じ内容項目の組合せ

例：ユニットテーマ「かけがいのない生命を見つめよう」



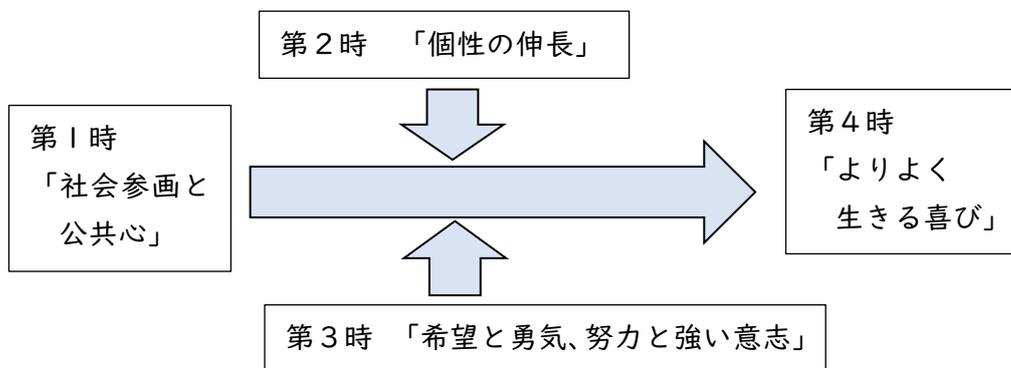
### ②テーマに合った異なる内容項目の組合せ

例：ユニットテーマ「いじめについて考えよう」



### ③中心となるテーマを、他の内容項目で補強する組合せ

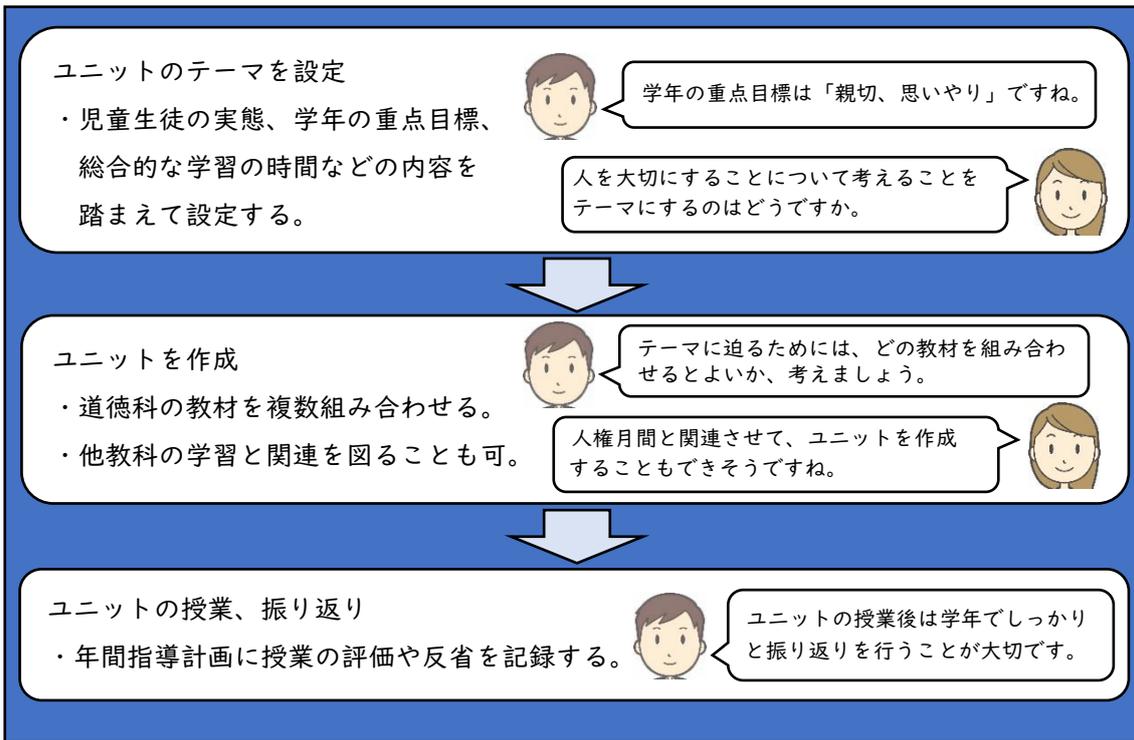
例：社会の一員としての役割を知ろう



一つのテーマについて、複数の教材や複数の内容項目を扱うので、多面的・多角的に物事を考えることができ、価値に対する深い理解が期待できます。



## ユニットの流れ（例）



ユニットを組むことで、一つのテーマで大きくりなまとまりを踏まえた評価ができるので、評価がしやすくなります。ユニットとOPPシートによる振り返りの組合せは効果的です。



道徳ワークシート

テーマ	「ありがとう」を形にして
6月3日	家族にやさしくしていただくお手伝いをしたものの草むしりもたくさんして家族が喜んでくれたすけあける。
7月9日	前は家族が喜んでくれたすけあけるとかだ。たけと今は、喜んでなくても家族のことも大切にしてあげようと思ってる。前の自分と今の自分では、今の自分のほうがもっとやさしく大切にしてあげ、今の自分よりもっと、もっと、自分なりたい！何かでもっと感謝の言葉をかけよう。自分なりに友達たちかまいては、自分なりに競争をかけて、自分を作りだすよ。

たけとのおい  
やさしくでき  
こは、とこ  
すげいいや  
!!

ありがとうを形にして感謝の言葉をこまやかに、家族のためみんなのためにできることはいっぱい。

ユニット実施前と実施後の考えを比較することで、児童生徒の変容が見取りやすくなります。



## 7 OJTで学びの機会を作ろう



道徳教育に関する研修を行う時間がなかなか取れません。どうすればよいですか。



道徳科の授業を参観し合うなど、授業を通して学んだり、学年やメンターチームで研修を行ったりするなど、OJTを生かして学びの機会を作りましょう。

### 年度始めの研修で共通理解を

道徳教育推進教師は管理職や校内研修主任に働きかけ、年度の始めに道徳教育に関する研修の時間を設けましょう。道徳教育の全体計画の説明、道徳科の授業の進め方、評価についてなど、全教職員で共通理解を図っておくべきことを年度始めの研修でまとめて行い、学校全体で道徳教育推進の方向性を一致させます。

### 「授業を見に行く会」を立ち上げよう

道徳教育推進教師が中心となって、気軽に教職員同士で授業を見せ合えるような体制を作りましょう。若手の教職員に声を掛け、「授業を見に行く会」を立ち上げ、道徳教育推進教師がベテランの教職員にお願いをして授業を参観させてもらったり、メンバー同士で順番に授業を見せ合ったりします。参観後は、メンバーで意見交換などを行うことで、学びを深めることができます。まずは、道徳教育推進教師が授業を公開し、「授業を見に行く会」をスタートさせましょう。



学習指導案は必要なしとするなど授業者の負担を減らすことで、お互いに気軽にできます。



## 率先して授業を公開しよう

道徳教育推進教師は、年度始めに示範授業として道徳科の授業を公開しましょう。新たに転任してきた教職員がこれまでの研修内容などを理解するとともに、学校全体で道徳科の授業の進め方を確認することで、全校で質の高い授業を行うことにつながります。また、年度当初だけでなく、率先して担当するクラスや学年の道徳科の授業を公開したり、他のクラスや学年で授業を行ったりすることで、他の教職員の道徳科への意識や指導力の向上につながります。公開後には、参観した教職員と感想や改善点などを話し合うことで、共に学び合うことができます。



授業を見ることが  
できて勉強になり  
ます。



## 各クラスの授業を参観しよう

道徳教育推進教師は、各クラスの道徳科の授業を参観し、授業後には、授業者と簡単な授業検討を行うことで指導力の向上に努めましょう。授業のよかった点や改善点を伝えたり、授業の悩みなどの相談に乗ったりすることで、これからも相談しやすい関係を築くことができます。全てのクラスを参観するのが難しい場合は、参観の希望を募ったり、若手の教職員に絞って参観したりするなど、できる範囲で実施していきましょう。

各クラスの道徳科の  
授業を参観し、授業  
者と一緒に振り返り  
を行いましょう。



## 学年で協力しよう

学年会を利用して、次に実施予定の教材を確認し、導入や発問について話し合うなど、協力して授業づくりを行いましょ。道徳教育推進教師に声を掛け、アドバイスをもらうこともよいでしょう。授業後には、授業の様子などを共有し振り返りを行いましょ。時には授業を参観し合い、参観後にミニ研修を行えるとよいです。気軽に話し合える雰囲気を作り、日常的に学び合うことが大切です。



研究授業などの前には、学年で指導案検討や模擬授業を行い、協力して研修に取り組みましょ。



## メンターチームによる研修（メンター研修）を活用しよう

メンター研修とは、複数の先輩の教職員が、複数の初任者や経験の少ない教職員とチームを組み、互いの資質能力を高める人材育成システムです。メンターチームを学校内の組織に位置付けておくことが大切です。道徳科の教材研究や模擬授業をメンター研修で行ったり、メンターチームで互いの道徳科の授業を参観し合ったりすることができます。道徳教育推進教師は、メンターチームのリーダーに働きかけ、メンター研修に道徳教育に関する研修を取り入れ、若手教職員の道徳教育への意識を高めましょ。

メンター研修で道徳科の授業づくりに取り組みましょ。



## コラム④

### 研修に動画を活用しよう

動画を活用した研修用教材があるので、いくつか紹介します。校内研修などに活用してみてもはいかがでしょうか。

#### ☆文部科学省「道徳教育アーカイブ」

「考え、議論する道徳」の実現に向けて指導方法の工夫事例やいじめ防止を扱った実践事例を、授業映像や指導案で紹介しています。授業映像では、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる工夫のポイントを、実際の授業の映像と授業者へのインタビューを通して紹介しています。

URL : <https://doutoku.mext.go.jp/>



#### ☆文部科学省「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説動画」

各教科等の指導におけるICTの効果的な活用にあたって参考となる解説動画です。学校での実践事例に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行うにあたって参考となるので、研修や日々の授業の改善などに活用できます。

URL : [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00941.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00941.html)



#### ☆NITS独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」

学校で実施する校内研修を60分と想定し、20分程度の講義動画を提供しています。校内研修の始めに視聴し、それをふまえた演習・発表を行うことで、校内研修に活用することができます。

URL : <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/>



動画なので分かりやすいです。

## コラム⑤ 道徳教育パンフレットを活用しよう

群馬県教育委員会から道徳教育に関するパンフレットが発行されています。道徳教育の充実に向けて参考にしてみてください。

### ☆「はじめよう！道徳科」

①道徳科になることで変わること、変わらないこと、②授業づくりの流れ、③考え、議論する道徳とは、④道徳科における評価とは、について分かりやすく説明しています。

URL : [http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=1374](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1374)



### ☆「ふかめよう！道徳科」

①教育活動全体で行う道徳教育、②「考え、議論する道徳」の授業、③道徳科の評価、について文部科学省・群馬県教育委員会の指定校・指定地域における取組を紹介しています。

URL : [http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=1806](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1806)



### ☆「ふかめよう！道徳科 実践編」

①文部科学省・群馬県教育委員会の指定地域における指導と評価の一体化や大きくくりなまとまりを踏まえた評価についての実践例、②道徳教育研究協議会で出された各学校で行っている評価のための工夫例を紹介しています。

URL : [http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=3165](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=3165)



## 8 道徳用教材を整理・保管・活用しよう



道徳用教材はどのように整備していけばよいですか。



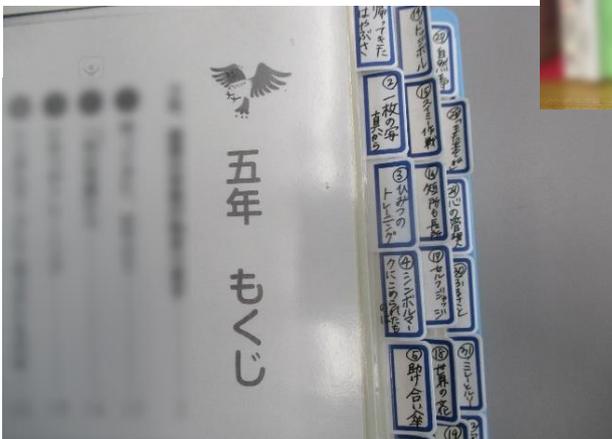
道徳専用のスペースを作り、授業で活用したものは学年別、教材別にファイルなどに分かりやすくまとめていきましょう。

### 整理・保管・活用して効率アップ

授業で活用した掲示物、学習指導案、ワークシートなどはいつでも誰でも活用できるように整理して保管していきましょう。データで保存できるものは、共有フォルダ内に保存していきます。道徳教育推進教師は、保管の仕方や保管場所を全教職員に伝え、学校全体で取り組むことで、資料やデータが蓄積されていき、教材研究や授業準備を効率的に行うことができます。



道徳専用のスペースを作り、学年別にファイルなどを作成し保管しましょう。



教材ごとに、掲示物、指導案、ワークシートなどを整理しておきましょう。





## 9 道徳コーナーを作ろう



道徳コーナーを作ろうと思うのですが、どのように進めればよいですか。



各学年の廊下や掲示板上に道徳コーナーを作り、月に1回は更新するよう学年主任や学年の道徳担当に働きかけましょう。

### 道徳コーナーで学びを生かそう

各クラスや学年の廊下、掲示板など、児童生徒や教職員の目につきやすい場所に道徳コーナーを作りましょう。日々意識化することで、児童生徒の授業での学びを広げ、実践意欲を高め、普段の生活の中でも生かせるようにします。教職員同士も他のクラスや学年の様子を知ることができ、職員室などでの話題も増えます。また、道徳コーナーは学校公開日や授業参観の際には、保護者や地域の方々にも留まります。家庭や地域との連携を進める上でも、道徳コーナーは有効な手立てとなります。



道徳科の授業で活用した場面絵や児童生徒の振り返り、授業の様子などを掲示します。



重点内容項目に関する掲示物で道徳コーナーを充実させましょう。



## 10 教職員向けに道德通信を発行しよう



教職員向けに道德通信を発行したいのですが、どのような内容にすればよいですか。



教職員で共通理解を図りたいことや、教材研究に役立つこと、道德教育に関する記事などが考えられます。月に1回や学期に2～3回程度の無理のないペースで発行しましょう。

### 道德通信で教職員の共通理解を図り、意識を高めよう

道德教育推進教師が中心となり、教職員向けに道德通信を発行しましょう。道德通信によって、教職員の共通理解を図ることができます。道德部で内容について話し合ったり、分担して作成したりするなど、協力して発行し、教職員の道德教育に対する意識を高めましょう。

### 教職員向けの道德通信の例①

#### 〇〇小学校 道德通信



今回は板書について説明します。

##### ① 構造的な板書

板書は、**授業の流れを要約し、構造的に記述**します。常に児童は板書を見て、「今、何が問題なのか。」「何を手掛かりにして考えればよいか。」を考えます。児童の発言を取り上げながら授業の流れが一目で理解できるような板書を目指しましょう。

##### ② 板書する量

文字量が多すぎると児童は情報をうまく整理することができません。発言内容そのまま書き写すのではなく、**ポイントを絞って箇条書きにしたりキーワードで示したり**し、児童が思考を整理しやすくなるよう工夫する必要があります。

##### ③ 板書するタイミング

児童の理解を深めたり思考を活性化したりするためにも、板書するタイミングは大切です。**教師が板書している時間は、児童が板書を見ながら思考を整理する時間**でもあります。児童の思考を中断しないようタイミングを考えた板書をする必要があります。

##### ④ 場面絵、短冊、ネームカード、電子黒板等の活用

場面絵や短冊、ネームカード等工夫して活用しましょう。また、電子黒板を用いるなど、ICT機器の活用によって、さらに、児童にわかりやすく、インパクトのある板書構成が可能になります。



教科→道德→板書の中に過去の板書写真が学年ごとに整理してあります。教材研究の際に活用してください。

教職員から道德に関する質問を募集し、道德通信で回答していく方法もおすすめです。



## 教職員向けの道德通信の例②

# 道德通信

～もう道德の授業はこわくない！～

### ◆道德通信を発行します◆

本校では、道德の教科化以前より、校内研修を中心に道德に力を入れてきました。そこで、職員向けに『道德通信』を発行し、今までの本校の研修の成果や道德教育推進教師が研修などで聞いてきたことを、道德部に寄せられた質問に答える形でお伝えしていこうと思います。

Q

道德の授業で児童の意見を発表させる時に、意見の出し合いで終わってしまい、議論にはなりません。どうすれば議論になるでしょう。

A

結論から言うと、小学校の段階で授業中に児童同士が議論を行うまでになるのは、長い時間をかけて道德の授業の力を（教師も児童も）高めていかないと難しいでしょう。研修会でも「議論までは難しいね」という意見がよく出ています。ですから、「議論ができる児童に育てていくための授業をしていく」という意識をもっていくことが現実的だと思います。

「議論ができる児童に育てていくための授業」を行うには、どうすればよいのでしょうか。今回は以下の2点を紹介します。

① 意見を出す場面では、必ず教師が介入する。

やってはいけない例としては、児童にグループ別に考えを話し合わせ、各グループが意見を出して授業のまとめに向かう授業が挙げられます。グループの話合いが悪いわけではありません。しかし、児童が話し合っただけでは考えの深まりには限界があり、そこには必ず教師の介入が必要となります。個人の思考の後にすぐ全体での意見の交流を行ったり、グループの話合いの後に全体での意見の交流を行ったりすると良いでしょう。全体での意見の交流の場面において、児童の意見を深められるような進行ができるよう教師のファシリテーターとしての能力を高めたり、他者の意見をふまえた意見が出せるように児童を訓練したりすると、「議論する授業」に近づけるでしょう。

② 本音を引き出せる発問を用意しておく。

例えば、友情について考える授業で、物語を読んだ後、児童が「クラスの友達だれとでも仲良くする」という考えを導き出すことはとても簡単です。（物語が、そのようにできていますから）しかし、授業中に本音の意見が出ていないと、なかなか道德の授業が実際の生活に結び付かないのが現実です。では、本音を引き出すにはどうすればよいのでしょうか。

やり方は様々あると思いますが、本校の道德スタンダードでは中心発問の後に「補助発問」を用意しておくというやり方を推奨しています。「補助発問」は、予め中心発問で出るであろう児童の考えを予想して、用意しておきます。「補助発問」を考えるのが難しい！という方は、理想と現実のギャップ（「主人公みたいに、良いアドバイスをもらえなかったらどうしよう 等」）や、人の弱さ（「実際には、声を掛けるとなると恥ずかしくなってしまうかな 等」）をつく発問を用意すると良いと思います。授業の導入で、実際の生活でうまくいかなかった経験を児童に聞いておき、それを補助発問で活用するのも効果的です。

# 第Ⅲ章

## 家庭や地域との連携

## 1 情報を発信しよう



道徳教育を家庭や地域と連携して進めるには、どのようなことから始めればよいですか。



まずは学校から情報を発信することが大切です。学校の道徳教育の全体計画や道徳教育に関する取組、道徳科の授業の様子など積極的に発信し、家庭や地域の道徳教育への理解を深め、興味や関心を高めましょう。

### 通信や Web ページで情報を発信しよう

学校や学年、クラスから出される通信や Web ページに、道徳科の授業の様子や児童生徒の感想、道徳的な行動などについて載せましょう。Web ページはあまり更新されないと見てもらえませんので、更新はなるべく頻繁に行えるとよいです。負担にならないように学年内で輪番制で書くなど協力していくことが大切です。

📧 お母さんとのやくそく

投稿日時: 11/11 2 2年担任 カテゴリ:

2年生は、今週の道徳で「お母さんとのやくそく」という授業をしました。めあては「よいおこないをするには、どんなことに気がつけたらよいだろうか」です。

教科書の話を読んで、主人公の行動について考えていきます。



♥ いいね！がいっぱい

投稿日時: 12/03 3 3年担任 カテゴリ:

なかよし月間では、道徳や学活、普段の生活の中で、友だちとの関わり方について考えてきました。今日は、仲良し月間の最後に、友達に「いいね！」や「ありがとう」を伝え合う活動をしました。



管理職や学年主任、学級担任に働きかけ、学校全体で道徳教育に関する情報を積極的に発信していきましょう。



## 家庭や地域に向けた道德通信を発行しよう

家庭や地域に向けた道德通信を通じて、学校でどのように道德教育に取り組んでいるのか家庭や地域に伝えましょう。道德通信には、どのような授業を行ったのか、内容項目やねらい、資料のあらすじに触れ、授業の様子や児童生徒の感想、家庭へのお願いなどを載せましょう。文字だけににならないよう、話合いの様子や板書などの写真を入れて伝えるとよいでしょう。また、道德科の評価についてのことなど、道德科に関する基本的な情報について掲載するのもよいと思います。

各学年で道德科の授業の様子を輪番制で書いていくなど、協力して取り組むことが大切です。



### 家庭や地域に向けた道德通信の例

今回は2年生の授業です。「ミーボー新聞」という読み物教材を使って「自分のよいところ」について考えました。

「さかなくん」として親しまれている主人公の小学生の時のエピソード。主人公は魚が好きで、魚について調べていた家庭学習が先生の目に止まり、「ミーボーしんぶん」という名前で貼り出された。主人公は、友だちが読んでくれるのか心配していたが、多くの友だちから賞賛を浴び、もっと魚のことを伝えたいと思うようになっていった。



授業の後半で「あなたのよいところはどこかな？」と質問したところ、「他の友達のは分かるけど・・・」「見つからないよ」の声。皆、困ってしまいました。そんな時、「では、お家の人に聞いてみようか！」と伝えると、「いないから聞けないよ。」との返事。ここで、「実は、お家の人みんなのよいところを教えてくださいだよ。」と伝えると「えー！！」と驚いていました。



ちょっと恥ずかしそうに照れながら、大事そうに、一生懸命読んでいる姿がありました。友達からも、よいところを教えてくださいました。

自分のことを見てくれて、認めてくれている人がいるって、それだけで自分の自信や、やる気につながります。子供達も、お家の人からのメッセージから、そんな思いを感じていたのではないかと思います。

今まで、あんなにきらいに思ってたけど、  
今まで、お母さんにはおじいちゃんとおばあちゃんに  
もらえていたけど、お母さんがあんなに  
読んでくれて、たぶん、かわかた。これこれもお母さん  
の役にたつにいます。

## 2 道徳科の授業を公開しよう



家庭や地域への道徳科の授業を公開しようと思うのですが、どのように進めたらよいですか。



道徳教育推進教師は、全てのクラスが授業参観の計画の中に一度は道徳科の授業を位置付けられるよう、管理職と相談し提案しましょう。

### 一年に一度は公開しよう

道徳科の授業を公開することは、学校における道徳教育の理解と協力を家庭や地域から得るためにも大切です。一年に一度は道徳科の授業を公開しましょう。保護者用に学習指導案を用意し、授業のねらいやポイントを示すことで、道徳科に対する関心を高めることもできます。道徳教育推進教師は管理職と相談し、授業参観の計画の中に一度は道徳科の授業を位置付けましょう。



授業公開をオンラインで実施することもできます。



学級懇談会では、学校の道徳教育についての取組などを説明し、家庭の理解と協力を得ましょう。



### 3 授業を通して家庭と連携しよう



道徳科の授業を通じて家庭と連携を図るには、どのような方法がありますか。



アンケートや児童生徒への手紙、インタビューを頼む、宿題を活用する、授業に参加してもらう、授業後にワークシートにコメントをもらうなどの方法があります。

#### アンケートや手紙、インタビューの依頼をしよう

道徳科の授業前に、保護者にアンケートや手紙、インタビューの依頼をし、授業で活用しましょう。「家族愛、家庭生活の充実」の内容で活用しやすいです。依頼する際には、保護者に趣旨を十分に説明し、理解を得ることが大切です。ねらいとする価値から離れないように、授業のねらいを明確にして伝えましょう。アンケートや手紙、インタビューの内容はプライバシーに配慮して大切に扱きましょう。

#### アンケート協力のお願いの例

##### 道徳授業への協力のお願ひ

道徳では、裏面に載せた読み物資料を活用して、「家族愛」「家族の一員として」について考える学習を行います。その中で、自分のこれまでの生活を振り返り、これからの自分について考える場面で、おうちの人がどんな思いをもって、家族のために家事等を行っているのかを子どもたちに伝えられたらと考えています。

主人公のお母さんの思いだけではなく、自分たちのおうちの人の思いに触れることで、子どもたちにはより自分の事として考えを深めてほしいと思います。

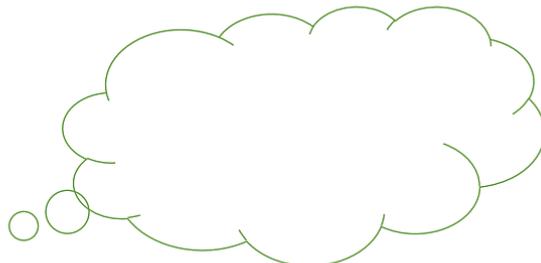
お時間がありましたらご協力ください。

ご協力いただける方は、9月28日（木）までに、一緒に配布した封筒に入れ、担任にご提出ください。



お子さんのお名前

○保護者の皆さんが、家庭での家事等を行うときの本音を吹き出しの中にお書きください。



裏面に資料を載せておくことで学習内容が保護者に伝わりやすいです。



アンケート作成ソフトを活用し、Web上でアンケートを行うことで、回答の集計を効率的に行うことができます。



## アンケート作成ソフトで作成した保護者アンケートの例

**道徳 第5学年 保護者アンケート**

道徳の授業で「思いやりがある人(だれに対しても思いやりの心をもって、相手の立場に立って行動していこうとする)」について学習します。  
お家の方が感じた「お子さんの思いやりのある行動」についてエピソードを募集します。  
協力できるご家庭がありましたら回答よろしくお願いたします。

お子さんのクラス

1組

2組

3組

お子さんの名前 (匿名可)

記述式テキスト (短文回答)

あなたが感じた「お子さんの思いやりのある行動」はな

集計

**集計結果**

あなたが感じた「お子さんの思いやりのある行動」はな	あなたが感じた「お子さんの思いやりのある行動」はな	あなたが感じた「お子さんの思いやりのある行動」はな	あなたが感じた「お子さんの思いやりのある行動」はな
ざりげなく手伝ってくれたり、「ありがとう」と感謝の言葉をかけてくれるところ。	困った人がいたら助けてあげられる	いつもお世話になりありがとうございます。疲れてソファで少し寝てしまった時に、そっと毛布を友達のA君とB君と自転車で家に帰る途中、A君が前方不注意でB君の自転車にぶつかってしまい小さい子に自分の好きなお菓子をわけてあげたりすること。	ゴミ捨ての時にゴミ袋が多いと、いつも自分から「持っていくね」と持って行ってくれます。
相手の気持ちを共感しあえる子	私の体調が悪い時は、黙って布団を持って来てくれたり、かけたりしてくれます。弟がうるさくしな人が困っていたり、元気がないときにさっと大丈夫？と声をかけてくれます。小さい子と話すときに学校を休んでいる友達を心配している。傘を忘れた友達と一緒に傘に入れてあげる1年生と毎朝一緒に落ち込みたり困っていたら話しかけてくれる。	困っている人に声をかける。お手伝いを気づいてやってくれる。	近所の、わりと元気のいい年下の男の子と、その子が1年生の時から毎朝一緒に登校して、安全に学病院の待合室が混んでいた時、高齢者の方に席を譲ってあげたり、祖父が畑仕事をしていると冷たい下の子に対して、優しく出来る
妹のことをとても大切にしており、何かにつけて手伝ってあげていること。(甘やかしすぎて妹はワナ何も言わなくても困っていることに気がついて行動してくれるところ。	困っている子を助けてあげられる	自分より年齢の低い子とよく遊んでくれます。年齢に合わせて遊ぶ内容や、相手が喜んでくれる事を買い出しから帰ると、荷物を運びに出て来てくれたり、怪我をすると絆創膏を取って来てくれたり。・片付け、準備などの時。進んで手伝う事が出来る。大変そうな物を持っている友達がいたら、高身自分より年下の小さな子と話す時、目線を相手の高さに合わせて話しをしていることです。	

## 家庭で取り組もう①

小学校では宿題を活用して、次時で扱う教材を親子で読み感想を伝え合います。親子で読むことで、児童の興味・関心を高め、内容理解にも役立ちます。



親子で取り組むことで、保護者の道徳科への興味・関心を高めることができます。



## 家庭で取り組もう②

小学校では、中心発問について親子で考え、ワークシートやノートに書いてくる方法も効果的です。親子で一緒に考えることで、児童の考えを深めることができます。また、事前に考えてくることで、授業での話し合いの時間を普段よりも多く確保することができます。更に考えを深めることができます。

自分の考え:  
自分たちのための支援物資を思返しのために使う  
優しい心があったから 多くの人たちに知られるよ  
うになったと思います。

家族の人の考え:  
僕は、思いやりが情報を扱う人へ届き、次に報道で知った  
人たちに届き、新しい情報によってさらにたくさんの人たちへと  
届けられ、仮設住宅の方々に感謝の気持ちも届いたと思  
います。

共通の考え:  
優しさに共感、感動をして、多くの人に知られるよ  
うになった。

親子で一緒に取り  
組むことで、お互い  
の考えを知るよい  
機会となります。



## ノートやワークシートにコメントをもらおう

道徳科の授業で使用したノートやワークシートを児童生徒が家庭に持ち帰り、コメントをもらいましょう。保護者は授業の内容や児童生徒の考え、心の成長ぶりなどを知るよい機会となります。ワークシートに家庭からのコメント欄を設けておきましょう。

### おうちの人の考え

ふたつから、「自分がやられていやなことは、人にしない」と言っ  
ていますね。とても良い心がけだと思います。これからは  
それにくわえて、あにはどういう気持ちなのか、何をしたらか  
まか、何をしたらよいか、そうぞうしてあげよう。マッセ-ジは  
はおたがいの顔が見えないので、とくに気をつけなくてはいけ  
ないよと、お母さんもあらためて思いました。



家庭からの称賛や励  
ましは、児童生徒の  
自己肯定感や自己有  
用感を高めることに  
つながります。

### お家の人からひと言

相手の気持ちに気づいて考え、自分と違う  
考えもちゃんと聞ける、大事なことだからいつも  
お友達や家族の事をそう思いやりをもって話して。  
ありがとう

## 家庭での実践につなげよう

小学校では、保護者と協力し、カードなどを活用して道徳科の授業で学習したことを家庭での実践につなげましょう。通信などで保護者に学習した内容やどのような実践に取り組むのかを伝えます。そして、児童の実践を認め、励ます声掛けを行うなど協力をお願いしましょう。

### 協力を依頼する通信の例

#### 道徳「ちゃんとのたつじん」の学習でのお願い

今週の道徳の授業「ちゃんとのたつじん②」では、「健康に気をつけ、ものを大切に、身の回りを整え、規則正しい生活をしようとする」ことをねらいとして、学習を行いました。授業の中では、学校生活だけではなく、家庭生活でも身の回りの整理整頓をしたり、規則正しい生活をしたりすることが大切で、それが健康につながることを知り、実行しようとする意欲をもつことができました。

そこで、**5日(金)から14日(日)まで**、家で「ちゃんとのたつじん」になるために、行うことを一つ決めて、カードに記入することにしました。めあてができた日は、◎を赤で塗ります。できなかった日は、◎を青で塗ります。そして、14日(日)に、振り返りを行って、「どんな気持ちで過ごせたか。」を書きます。そのときに、ただ「できた、できなかった」を書くのではなく、できてどんなことが良かったのか、また、できないと何が良くないのかを書くことができるように、お子さんに声かけをお願いします。

そして、「やるとこんな良いことがあるんだ」とわかり、続けて頑張ろうという気持ちもてるように、「おうちのひとから」の欄に一言書いていただき**15日(月)に持たせてください**。ご協力をよろしくお願いいたします。



### 実践につなげるカードの例

「ちゃんとのたつじん」になるために、 あそんだあとのかたづけ をがんばります！

「ちゃんとのたつじん」に なれたりは あか 「ちゃんとのたつじん」に なれなかつた日は あお で ◎のいろを ぬりましょう。				5日(金)	6日(土)	7日(日)
8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)

どんなきもちで すこせたかな。

あそんだものをかたづけるとおうちがきれいになるときもちがきれいに感じるよみんなのきもちがきれいになる!!

おうちのひとから

じぶんのものは、じぶんでかたづけられると、おうちがこうかきれいでいられるね。まいち、あしずつてもやるしいいね。いほもたすかります。これからもつづけられるようにがんばっていきな。

小学校の低学年に有効です。家庭の協力を得ることで、児童の実践意欲を高めることができます。



## 4 地域の人材を授業で活用しよう



地域の人材を授業で活用したいのですが、協力していただける方を探したり、打合せや日程の調整をしたりするのが大変です。



インタビュー動画を活用して、間接的に授業に参加していただくことで、打合せや日程調整などの負担を減らすことができます。地域の人材が見付からないときには、関係機関等に相談することもできます。管理職とも相談しながら進めましょう。

### インタビュー動画を活用しよう

地域の方々にゲストティーチャーとして道徳科の授業に参加していただき、自分の体験や思いを話してもらうことで、児童生徒は、様々な人の生き方や考え方などに触れ、道徳的価値の自覚や自己の生き方についての考えを深めることができます。しかし、授業に直接参加していただくためには、打合せや日程の調整など実際にはなかなか難しいと思います。そこで、インタビュー動画を活用して、地域の人材を授業で活用する方法がお勧めです。



インタビュー動画を作成しておけば、いつでも授業で活用することができます。年間指導計画に活用した人材や成果などを記録しておき、教職員で共有しましょう。



## 人材を探す際には関係機関に相談しよう

道徳科の授業に協力していただける地域の人材を探す際には、地域人材に関する情報を提供している関係機関等に積極的に相談しましょう。関係機関等と連携することで、地域の人材とつながりやすくなります。

### 地域の人材を探す際に活用できる主な関係機関等

#### 学校支援センター



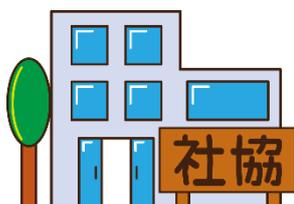
保護者や地域の方々にボランティアとして学校教育の諸活動に協力していただく拠点です。学校支援センターを発展させた、地域学校協働本部を設置している学校もあります。

#### 公民館



地域住民のために社会教育に推進する拠点施設として中心的な役割を果たしています。住民同士が「つどう」「まなぶ」「おすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献しています。

#### 社会福祉協議会



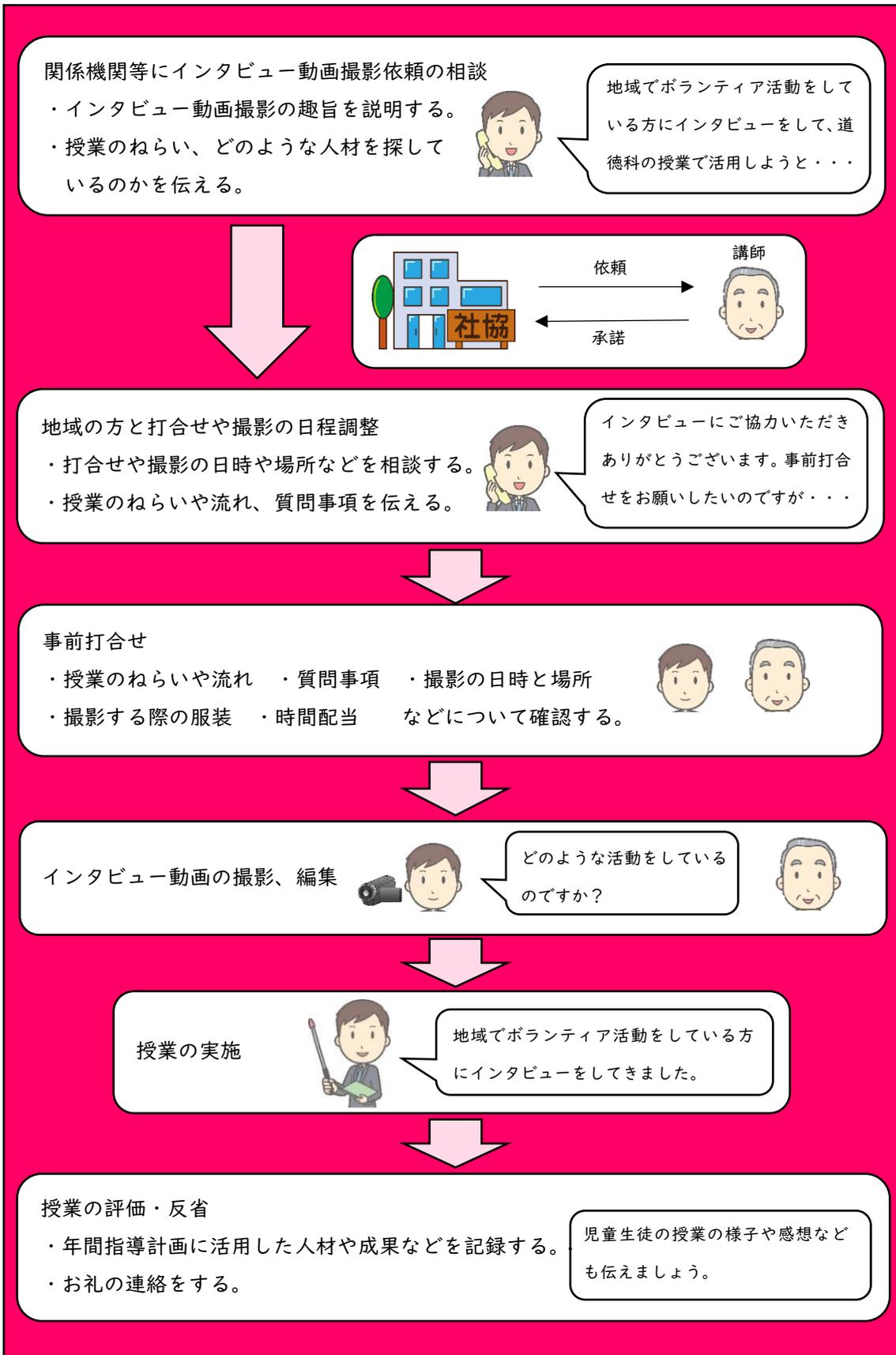
地域の住民やボランティア、福祉・保健等の関係者、行政機関の協力を得て、福祉のまちづくりをめざす民間の団体です。様々な場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

#### 社会教育主事



教育委員会の事務局に置かれ、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導をします。学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合に、必要な助言を行います。

## インタビュー動画を授業で活用する際の流れ（例）



## 地域教材で地域の人材や物的資源を活用しよう

地域教材は、児童生徒にとって身近なものに感じられ、教材に親しみながら、郷土愛の伸長とともに、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができます。地域教材は地域のことを扱うので、地域の人材を授業で活用する絶好の機会となります。また、教材に出てくる伝統工芸品などを実際に見せたり触れさせたりするなど、物的資源の活用も考えられます。地域教材を年間指導計画に位置付け、効果的に活用しましょう。

## コラム⑥ 「ぐんまの道徳」を活用しよう

郷土資料集「ぐんまの道徳」は群馬県の偉人や自然、伝統文化などを教材として作成された読み物資料です。小学校1・2年生向け、3・4年生向け、5・6年生向け、中学生向けの計4種類で、各学校1学年に1クラス配布されています。年間指導計画に位置付け、活用しましょう。

群馬県内の学校関係者は、群馬県総合教育センター「G-TaK.NET」から、道徳郷土資料集「ぐんまの道徳」に関わる電子データを閲覧・ダウンロードできます。閲覧・ダウンロードを行う際には、群馬県総合教育センターから通知された文書に記載されているユーザー名とパスワードを入力し、道徳郷土資料集「ぐんまの道徳」ポータルサイトを参照ください。

URL：<http://www.cms.gsn.ed.jp/nc/GTaK/htdocs/>



### G-TaK.NET

群馬県総合教育センター 楽しい授業づくり教材コンテンツ集

ログイン

メニュー

▼コンテンツ

- ▶ G-TaKコンテンツ
- ▶ ICT活用事例
- ▶ 東国文化
- ▶ 世界遺産 編遺産群
- ▼ ぐんまの道徳
  - ①小低：うみ
  - ②小低：えんぎだるま
  - ③小低：ゆばたけのおゆ
  - ④小低：やぎぶしのれんしゅう

道徳郷土資料集「ぐんまの道徳」

小学校合冊版	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
中学校版	指導資料		
	指導資料		

## コラム⑦

### 出前講座を活用しよう

様々な団体が学校向けに出前講座を行っています。道徳教育と関連付けて積極的に活用してみてもはいかがでしょうか。出前講座をいくつか紹介します。

#### ☆群馬県助産師会「いのちの大切さ出前講座」

いのちのかけがえのなさ、大切さ、素晴らしさを伝え、児童生徒の自尊感情・自己肯定感を培うことを目的とした講座です。

URL : <https://www.jyosansi-gunma.com/>



#### ☆群馬県獣医師会「動物ふれあい教室」

獣医師を校医として小学校などへ派遣し、児童が動物とのふれあいを通じて、動物の生態や正しい飼い方などを体験し、動物愛護の精神を養うことを目的とした講座です。

URL : <http://gunma-vets.org/index.html>



#### ☆マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン「e-ネット安心講座」

ネット依存、ネットいじめ、不確かな情報の拡散、誘い出し・なりすまし、個人情報、ネット詐欺、著作権・肖像権といった項目について、児童生徒に迫る危険の実態を正しく知り、トラブルを未然に防ぐために、児童生徒及びその保護者や教職員を主な対象とした講座です。

URL : <https://www.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>



学校向けに様々な  
出前講座があるの  
ですね。



# 第Ⅳ章

## 小中連携

# 1 道徳科の授業を参観しよう



道徳教育を通して、どのように小中連携を図ればよいですか。



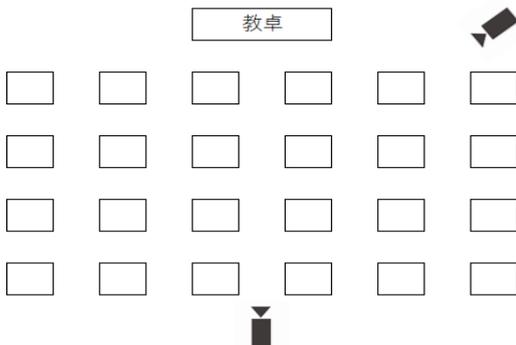
管理職と相談し、中学校区内の小・中学校で互いの授業を参観できる機会を設けましょう。教職員が互いの実践、児童生徒の実態などについて理解を十分に図ることが重要です。

## 授業を参観し合おう

学校公開日や計画訪問、研究授業などを活用して、中学校区内の小学校と中学校で互いに授業を公開し、参観し合ひましょう。日程や授業内容などの情報を共有し、積極的に参観を呼び掛けるなど、参観できる環境を整えることが大切です。授業への参観を通して、互いに学び合いながら、交流も深めましょう。

## 授業を撮影し、データを共有しよう

授業をビデオやタブレットで撮影し、共有フォルダやクラウド上にデータを保存しておくことで、直接参観に行けない教職員も、いつでも自由に授業を見ることができます。また、授業者は自分の授業を振り返ることができ、授業改善に生かすことができます。学習指導案や板書のデータと一緒に保存しておくことで、次年度以降の授業に生かすこともできます。



カメラは教室の前方と後方に1台ずつ設置できるとよいです。



参観に行く時間がないので助かります。



## 2 合同研修会を実施しよう



小・中合同でどのような研修を実施するとよいですか。



模擬授業や研究授業、授業研究会などの実践的な研修を小・中合同で行うことで、互いに学び合うことができます。

### 模擬授業を実施しよう

合同研修会の際に、道徳科の模擬授業を実施しましょう。模擬授業を実施することで、校種の違う教職員でも授業の具体的なイメージをもつことができ、授業展開や発問の検討を行う中で、課題を発見したり、改善のアイデアを出し合ったりすることができます。学習指導案の問題点を具体的に把握し、課題を修正することによってより質の高い授業につなげることができます。

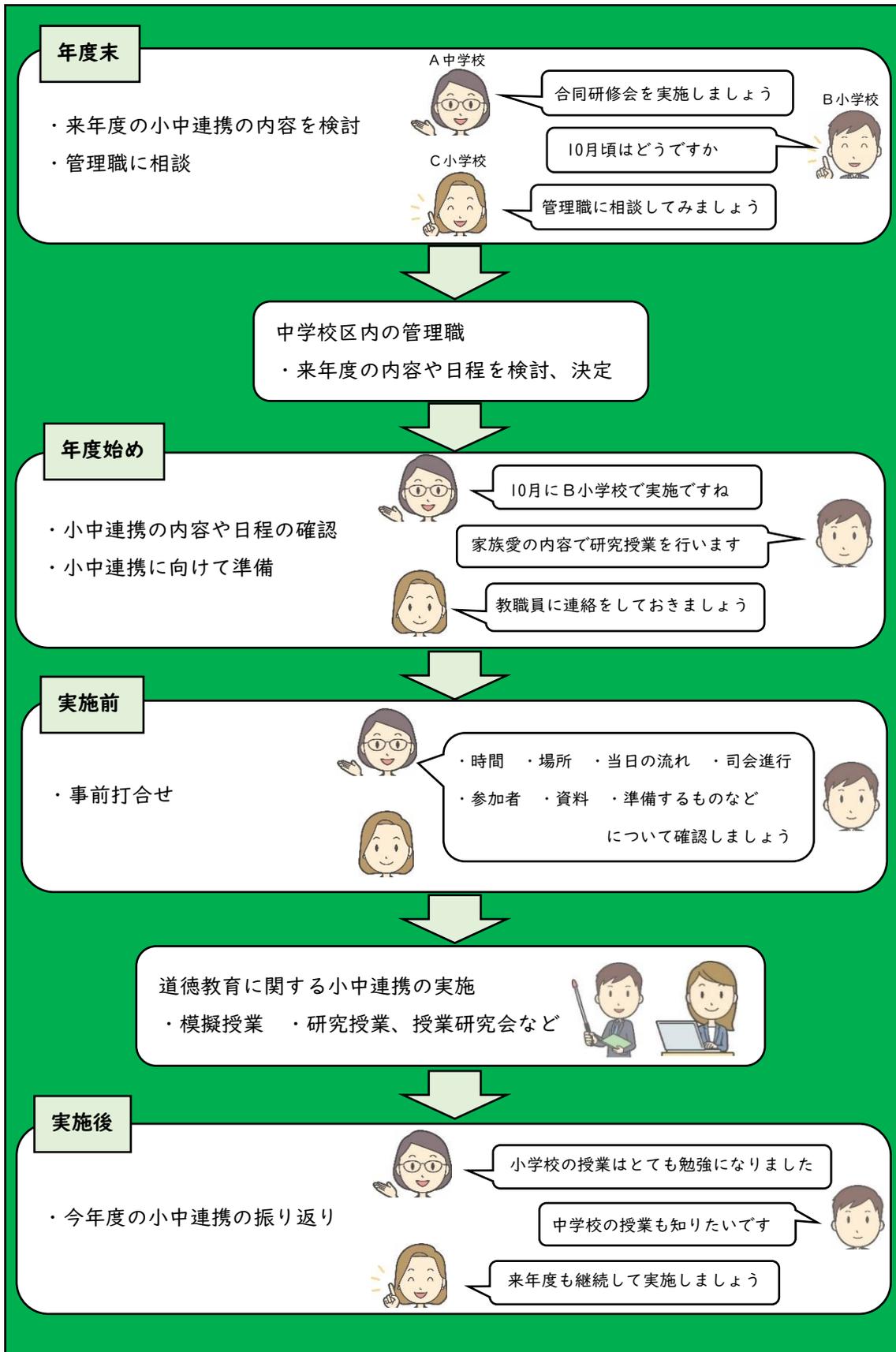
### 研究授業・授業研究会を実施しよう

道徳科の研究授業を実施し、中学校区内の小学校と中学校で、互いに参観し合いましょう。学びのつながりを意識し、小・中学校で同じ内容項目で研究授業を実施すれば、系統性の理解をより深めることができます。

研究授業後には、合同で授業研究会を行いましょ。研究授業や授業研究会を通して、授業の進め方や指導方法の違いなどについて理解を深め、互いの指導力向上に努めましょ。



## 道徳教育に関する合同研修会を実施する際の流れ（例）



### 3 合同研修会を実施するための工夫



合同研修会をもっと容易に実施できるとよいのですが、どうすればよいですか。



メンターチーム同士で合同研修会を実施するなど、規模を小さくすることで準備などの負担が減り、実施しやすくなります。また、ICTを活用することで効率的に進めることもできます。

#### メンター研修を活用しよう

メンターチームの研修に、中学校区内のメンターチームとの合同研修会などを取り入れましょう。例えば、道徳科の学習指導案を検討したり、模擬授業を実施したり、道徳科の授業の悩みについて話し合ったりするなどが考えられます。メンターチームなので、全体の場では言いづらい意見や聞きづらいことも気軽に話し合うことができます。

若手教職員の交流にもつながります。



#### 学習支援ソフト

OJT (小中合同)

参加  
生徒に表示

クラスコード

期限附近  
提出期限の近い課題はありません

クラスに知らせたいことを入力

10月22日  
当日のグループは以下ようになります。  
研修会は で行います。自分のグループを覚えておいて、ブレイクアウトに入意してください。

- 1班 市川・竹田・一倉・高野
- 2班 木暮・尾高・山田・萩野
- 3班 合子・後藤・坂井・鎌訪
- 4班 豊島・西戸・松澤・青山

各班の先頭の先生が代表者です。

学習支援ソフトを活用し、参加者への連絡やデータの共有を行いましょう。



## Web会議システムを活用しよう

Web会議システムを活用し、オンラインで実施することで、あえて一か所に集まる必要がなくなり、異なる場所から合同研修会に参加することができます。移動に使う時間を減らすことで業務の効率化が図れます。



### 少人数グループ分け機能



少人数グループ分け機能を使えば、参加者を少人数のグループに分けて協議を行うことができます。



## デジタルホワイトボードを活用しよう

オンライン上で協議をする際には、デジタルホワイトボードが便利です。パソコンやタブレットがあれば、付箋紙やワークシートが必要なくなります。書き込んだボードはそのまま保存して共有できるので、議事録としても利用できます。

### デジタルホワイトボードの活用例

<b>よかった点</b>	<b>改善点</b>	授業の視点 「対話的な学びが、ねらいに対して効果的に行われていたか。」
テーマ以外のよかった点・改善点	改善点に対する代案	

※「その他」については、よかった点も改善点も黄色の付箋でお願いします。

【授業研究会の流れ（時間）】  
①授業説明（5分）  
②班別協議（25分）  
→各班のファシリテーターの進行でお願いします。  
③全体発表（10分）

初めのページに付箋の色や授業の視点などが示してあると分かりやすいです。





ここまでの内容を組み合わせ、授業研究会をオンラインで実施する際の流れを紹介します。

### オンライン授業研究会を実施する際の流れ（例）

#### <事前準備>

- ・学習支援ソフトを活用し、中学校区内の教職員への連絡やデータの共有を行えるようにする。
- ・道徳科の授業を撮影し、いつでも視聴できるよう学習支援ソフト上でデータを共有する。（授業研究会までに視聴しておくよう伝える。）
- ・Web会議システムの招待用URLを発行し、伝える。
- ・デジタルホワイトボードを活用する場合は、使用するデジタルホワイトボードのURLを伝える。（参加者が編集できるように共有しておく。）
- ・協議の視点を示し、自分の考えをもった上で参加するよう伝える。

Web会議システムに接続できるか確認する機会を設けておくと安心です。



#### <授業研究会の流れ>

時間(めやす)	内容	詳細
2分	進め方の説明	・授業研究会のねらい、流れ、時間設定などの説明をする。 ・効率的な話し合いになるよう、協議する視点を一つから二つ程度に絞っておく。
5分	授業説明	・授業者の思いや配慮した点、意見をもらいたい点などについて説明する。
3分	質疑応答	・全体に関わる質問などがあるか確認する。
25分	班別協議	・少人数グループ分け機能を活用し、参加者を少人数のグループに分ける。
		・グループごとに成果と課題、改善策を考える。
15分	全体発表	・各グループの代表者が成果や課題、改善策を発表し、情報の共有化を図る。
5分	まとめ	・成果と課題についてまとめるとともに、課題の改善の方向性を示す。
5分	指導・助言	・助言者がいる場合、指導助言を受ける。

グループとグループの進行役をあらかじめ決めて、伝えておくと、協議をスムーズに進めることができます。



## 参考文献

- 文部科学省 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』  
文部科学省 『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』  
群馬県教育委員会 『はばたく群馬の指導プランⅡ』（2019）  
群馬県教育委員会 『はじめよう！道徳科』（2018）  
群馬県教育委員会 『ふかめよう！道徳科』（2019）  
群馬県教育委員会 『ふかめよう！道徳科 実践編』（2020）  
永田 繁雄・島 恒生 編 『道徳教育推進教師の役割と実際』 教育出版（2010）  
『道徳教育 8月号 No.746』 明治図書（2020）  
田沼 茂紀 著 『道徳科授業スタンダード』 東洋館出版社（2019）  
堀 哲夫・中國昭彦 編著 『小学校道徳科の指導&評価』 東洋館出版社（2019）

